

ガイドドサージェードリル

【禁忌・禁止】

- ・本品、類似成分の合金又は配合成分に対して、発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
- ・使用前にオートクレーブ滅菌していない本品を用いないこと。

【形状・構造及び原理】

ポイントドリル



ガイドドリル



ガイドポイントドリル



リンデマンドリル



ストップードリル



ストレートドリル



ストレートツイストドリル



テーパードリル



ガイドストレートツイストドリル



ガイドボーンプロファイラードリル



ガイドコーティカルドリル



コーティカルドリル



ティッシュパンチドリル



ガイドアンカードリル



ガイドアンカードライバー



ガイドフィクスチャドライバー



フィクスチャドライバー



マシンドライバー



ドリルエクステンション



材質

ステンレス鋼

原理

本品は、コントラングル等の能動型機器に接続し回転させながら、骨の切削、皮質骨の貫通、骨窩の形成、歯肉の切除、インプラントフィクスチャの埋入等を行う。

【使用目的又は効果】

歯科用インプラントの外科手術における組織又は骨等の切削、切除、穿孔等に用いる。

【使用方法等】

1. 術前準備

1) 患者の口腔状態を診断し、インプラント治療計画を立てる。

2) 本品にきずや汚れ、異物の有無、滅菌済であることを確認する。

3) 通法に従い、術野の消毒、麻酔、歯肉及び骨膜の切開剥離を行い、埋入部位の歯槽骨側面を露出する。

2. インプラント埋入手術

1) 通法に従い、麻酔後、歯肉を剥離した皮質骨にポイントドリルやガイドドリルでインプラントホールの形成部位にマーキング（起始点形成）を行う。

2) マーキング箇所ガイドポイントドリル、リンデマンドリルを用い、インプラントホールの深さと軸を確認しながら、初期埋入孔を形成する。

3) ストップードリル、ストレートドリル、ストレートツイストドリル、ガイドストレートツイストドリル、テーパードリルを用い、埋入するフィクスチャのサイズに合わせて、骨を切削・除去し、インプラントホールを形成する。必要に応じ、ガイドボーンプロファイラードリル、コーティカルドリル、ガイドコーティカルドリルを用い、皮質骨を除去する。

4) フィクスチャドライバーもしくはガイドフィクスチャドライバーを用いて、フィクスチャを埋入し、埋入したインプラントの添付文書等に従いインプラント手術を行う。

※必要に応じて、以下のオプションドリルを使用する。

・マシンドライバー：インプラントのスクリュー等を締結する際に使用する。

・ドリルエクステンション：ドリルの長さを延長する場合に使用する。

・ティッシュパンチ：歯肉を切除する際に使用する。

各ドリルの推奨回転数

ポイントドリル	600~800 rpm
ガイドドリル	600~800 rpm
ガイドポイントドリル	300~800 rpm
リンデマンドリル	600~800 rpm
ストップードリル	1,200~1,600 rpm
ストレートドリル	800~1,200 rpm
ストレートツイストドリル	800~1,200 rpm
テーパードリル	1,200~1,600 rpm
ガイドストレートツイストドリル	800~1,200 rpm
ガイドボーンプロファイラードリル	600~1,000 rpm
ガイドコーティカルドリル	800~1,200 rpm
コーティカルドリル	800~1,200 rpm
ガイドフィクスチャドライバー	15~25 rpm
フィクスチャドライバー	15~25 rpm
ティッシュパンチドリル	800~1,200 rpm
マシンドライバー	20~25 rpm

ドリルエクステンション	接続する製品の最高許容回転速度による。
-------------	---------------------

3. アンカースクリュー手術

- 1) 通法に従い、麻酔後にガイドアンカードリルでスクリューホールを形成を行う。
- 2) ガイドアンカースクリューを取り付け、埋入する。

各ドリルの推奨回転数

ガイドアンカードリル	300~800 rpm
ガイドアンカードライバー	20~25 rpm

4. 使用後の処置

- 1) 使用済みのドリルに付着した血液、体液等が乾燥する前に、水やアルコール液に浸漬しておく。
- 2) ドリルを洗浄し、乾燥させた後、滅菌し、保管する。(121℃、20分または 132℃、5 分)

[使用方法に関連する使用上の注意]

- ・購入時は未滅菌のため、使用前に必ず洗浄・滅菌を行い、次回からの使用時にも同様に行うこと。
- ・本品のハンドピース等への取り付けは、脱落したり器具の破損などにつながらないように確実に奥まで挿入し、固定されていることを確認すること。[口腔内に落下する恐れがあるため]
- ・本品は、使用前にハンドピースに装着し、患者の口腔外にて回転させ、芯ブレなどに支障のないことを確認すること。使用に適さない場合には、新しいものと交換すること[消耗したドリルの使用は、発熱や不正確な窩洞形成の原因になる]
- ・埋入するフィクスチャの長さ、太さに適応したドリルを選択すること。また、術前にドリルの目盛りとフィクスチャの長さとの関係をきちんと把握しておくこと。
- ・硬い骨の形成する場合に、無理な力を加えて形成を行わないこと。
- ・使用の際には、発熱、外科的損傷等最小限にするため、十分な生理食塩水の注水下で、適正な回転数にて使用すること。
- ・ドリルは、小さな径から徐々に大きな径のものを使用すること。
- ・術後は、使用・未使用にかかわらず所定の消毒・洗浄・滅菌を行うこと。

【使用上の注意】

[重要な基本的注意]

- ・インプラント治療について、適切な教育・訓練を受けた者のみが使用すること。
- ・本品を使用している間は、常に患者の状況を観察し、異常を認めた場合は、直ちに手術を中止し、適切な処置を取り患者の安全を確保すること。
- ・本品の使用により発疹・皮膚炎等の過敏症状が現れた患者あるいは術者は使用を中止し、医師の診断を受けること。
- ・本品は当社が指定するインプラトシステムとのみ併用すること。
- ・本品は先端部が鋭いため、使用中に患者の口腔内又は顔面、術者の手指などを傷つけないように取り扱いには充分注意すること。
- ・本品の使用に際しては、公的機関が認可した防塵マスク、保護メガネなどを着用すること。[血液の飛沫などによる人体への影響を避けるため]

[使用後の注意]

- ・本品を廃棄する際は、医療廃棄物として処理すること。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・水分、腐食性薬剤及びその蒸気の暴露を避けて、外圧など物理的負荷と汚染を受けない場所に保管すること。
- ・歯科の従事者以外が触れないように適切に管理すること。

【保守・点検に係る事項】

本製品は下記要領にて取り扱うことを推奨する。

(洗浄方法)

1. 本品がすべて洗浄液に浸かるように十分な量の洗浄液を入れ、超音波洗浄を行うこと。
2. 洗浄後は十分にすすぐこと。仕上げすすぎには精製水を用いることを推奨する。
3. 洗浄後は、腐食を防ぐため、必ず乾燥させること。

(滅菌方法)

滅菌方法	標準的滅菌条件
プレバキューム式高圧蒸気滅菌	132℃ / 5 分
重力置換式高圧蒸気滅菌	121℃ / 20 分

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元: 株式会社ジオメディ

福岡県福岡市博多区吉塚 1 丁目 38-28 ジオビル

TEL: 092-409-4050 FAX: 092-409-4051

販売元: 株式会社 歯愛メディカル

石川県白山市鹿島町 1-9-1

TEL: (お問合せ先) 076-278-8800

製造業者: BIOTEM CO., LTD. (バイオテム社)

製造所国: 大韓民国